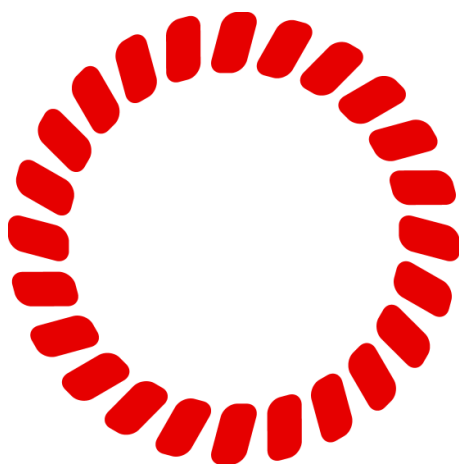


ProtectDrive 導入ガイド
～評価版としてのインストール手順及びFAQ～

2007年10月15日版



OPEN SOURCE
JAPAN

オープンソース・ジャパン株式会社

目次

はじめに.....	3
本書の免責事項について.....	3
本書の著作権について.....	3
本書の内容改善へのご協力をお願い.....	3
ProtectDrive 評価版とは.....	4
導入前のチェックリスト.....	4
非互換ソフトウェアなど.....	4
インストール手順.....	6
ProtectDrive 設定ツール.....	13
起動方法.....	13
ドライブ暗号化手順.....	14
評価版のアンインストール手順.....	14
その他.....	15
よくある質問.....	16
補足.....	20
サポートされるデバイス及び動作検証済み PC 一覧.....	20

はじめに

ProtectDrive の概略、インストール方法、FAQなどを説明します。詳細はユーザーマニュアルを参照してください。本ドキュメントが対象としているバージョンは ProtectDrive 8.2 です。

本書の免責事項について

オープンソース・ジャパン株式会社は、本書の内容に関して一切の表明も保証も行わず、特に、販売性や特定の目的に対する適合性に関しては、一切の暗黙的保証も行いません。また、オープンソース・ジャパン株式会社は、いかなる人物や組織にも予告なく本書の内容を適宜、改訂、変更する権利を有します。

本書の著作権について

本書の著作権はオープンソース・ジャパン株式会社に所属します。販売・宣伝以外の一切の目的、または弊社および弊社の代理店経由でない販売・宣伝目的での複製・配布・引用を固く禁じます。

本書の内容改善へのご協力をお願い

本書の内容改善に向けてご意見・ご要望がありましたらぜひオープンソース・ジャパン株式会社または弊社の販売代理店様までお知らせください。弊社へのご連絡は電子メールにて pd_sales@opensource.co.jp までお願いします。

ProtectDrive 評価版とは

- ProtectDrive を評価版としてインストールすると、機能制限なく、30 日間試用することができます。
尚、評価版インストール後、アンインストールや復号化をすることなく正式版に変更することができます。
- インストール時に作成されるキーファイルは、必ずバックアップして下さい。このファイルを紛失しますと、ProtectDrive 標準のディザスタリカバリツールを利用できず、ProtectDrive のアンインストールやパスワード紛失時の復旧ができなくなります。

導入前のチェックリスト

- ProtectDrive 評価版は以下の OS に導入可能です。詳細についてはマニュアルを参照してください。
 - Windows 2000 Professional SP4
 - Windows 2000 Server SP4
 - Windows XP Home 及び Professional SP2 (64bit 版は非サポート)
 - Windows Server 2003 SP1
- あらかじめドライブのエラーチェックを実行してください。
- インストールは管理者権限のあるユーザーで行ってください。
- インストール時のユーザーパスワードを、6 文字以上 20 文字以下に設定してください。パスワードなしの場合や、文字数が範囲外の場合、インストールの中断や不具合の発生する可能性があります。
- 事前に最適化を行うことを推奨いたします。導入後も Windows 標準の最適化を行うことができますが、処理時間が長くなる可能性があります。
- 重要なファイル・データなどは必ず事前にバックアップをしてからインストールを行ってください。

非互換ソフトウェアなど

- 導入後は PartitionMagic などパーティションの変更・リサイズはできません。パーティションを操作する場合は本製品をアンインストールしてください。
- マルチブート機能を利用する場合は、ProtectDrive 付属のマニュアルをご参照ください。
- Acronis PartitionExpert とは互換性がありません。
- Lenovo RapidRestore や Acronis True Image などパーティション全体をイメージとして保存・復帰するバックアップソフトとは互換性がありません。

- Windows の『システムの復元』を利用して **ProtectDrive** をアンインストールすることはできません。また、**ProtectDrive** インストール後に作成された復元ポイントにのみ復元可能です。
- Windows のバックアップツールとは互換性がありません。別途ファイル・フォルダ単位で保存するバックアップツールをご用意ください。
- 本ソフトウェアはカスタマイズされた **GINA** を利用します。既存に別の **GINA** が導入されている場合、問題になる可能性があります。あらかじめアンインストールを行う等して標準の状態に戻しておいてください。

インストール手順

1. ZIP 圧縮されたファイルを任意のロケーションに展開し、フォルダの中の **SafeNet ProtectDrive.msi** をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。

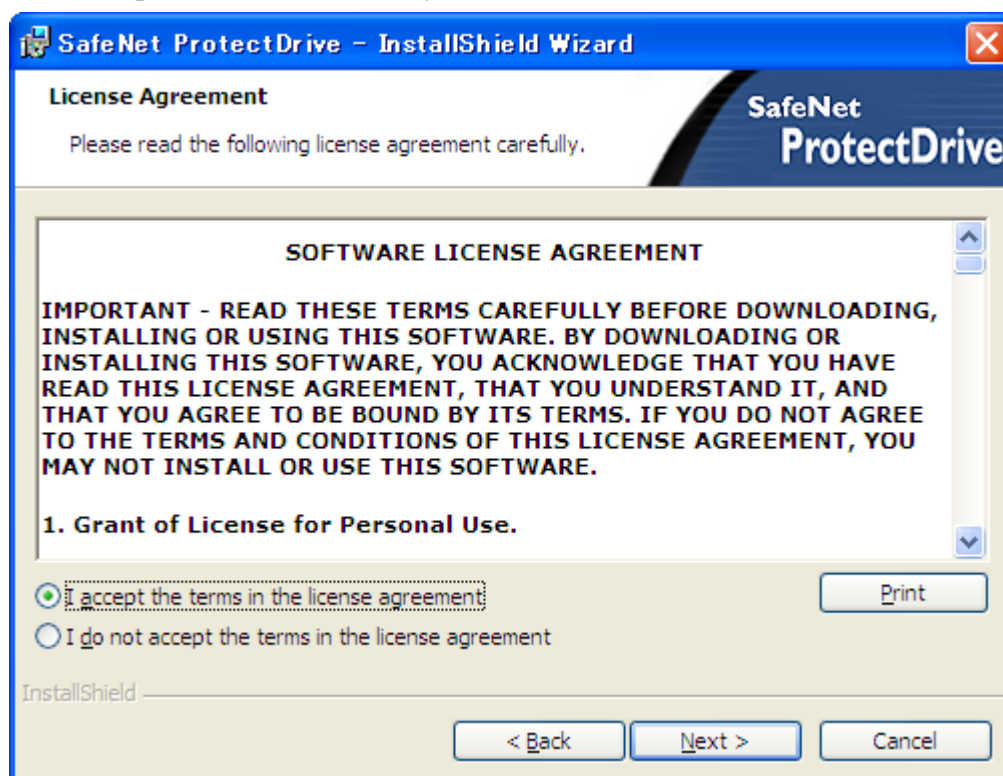


種類: Windows インストーラ パッケージ
作成者: SafeNet, Inc.
タイトル: Installation Database
表題: SafeNet ProtectDrive
Contact:
更新日時: 2007/08/15 11:06
サイズ: 14.1 MB

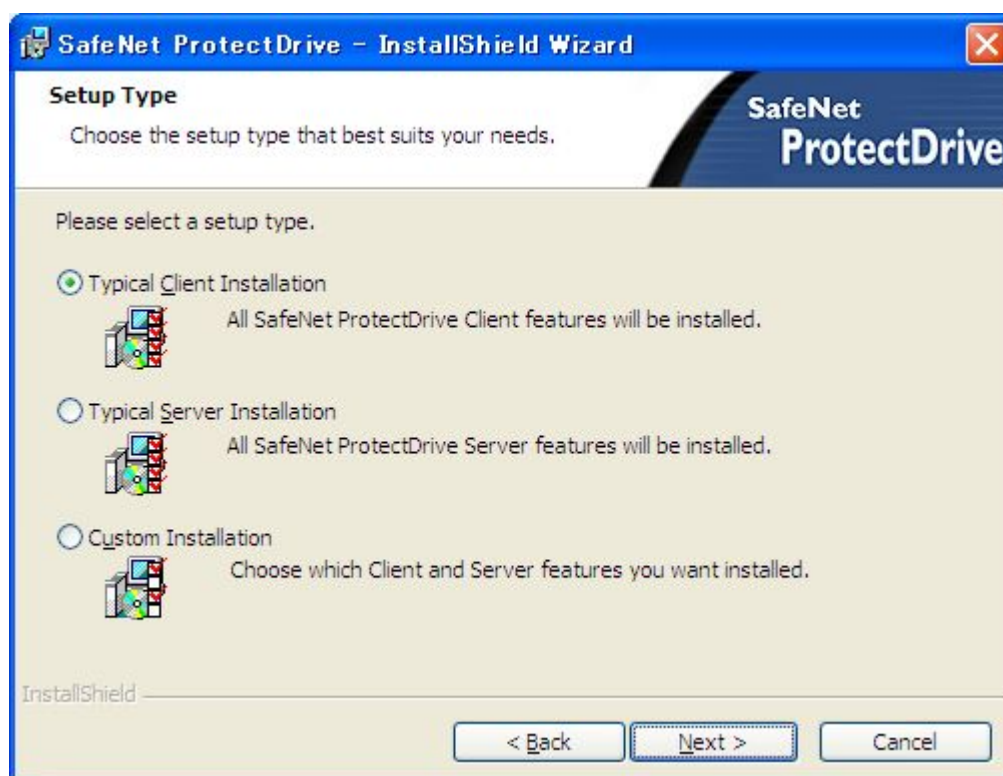
2. 次の画面が表示されたら、「Next >」をクリックしてください。



3. License Agreementを確認の上、「I accept the terms in the license agreement」を選択し、「Next>」をクリックします。



4. 「Typical Client Installation」が選択されていることを確認し、「Next>」をクリックしてください。



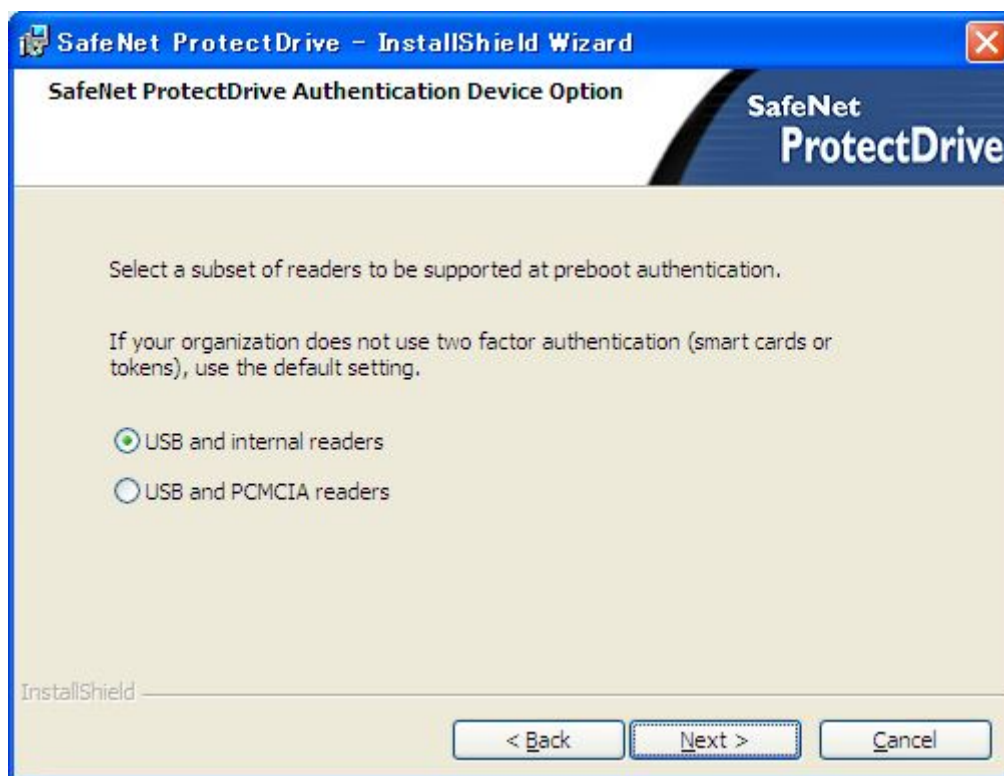
5. 「Japanese」を選択し、「Next >」をクリックしてください。ここで「Japanese」を選択すると、日本語版 ProtectDrive 設定ツールがインストールされます。



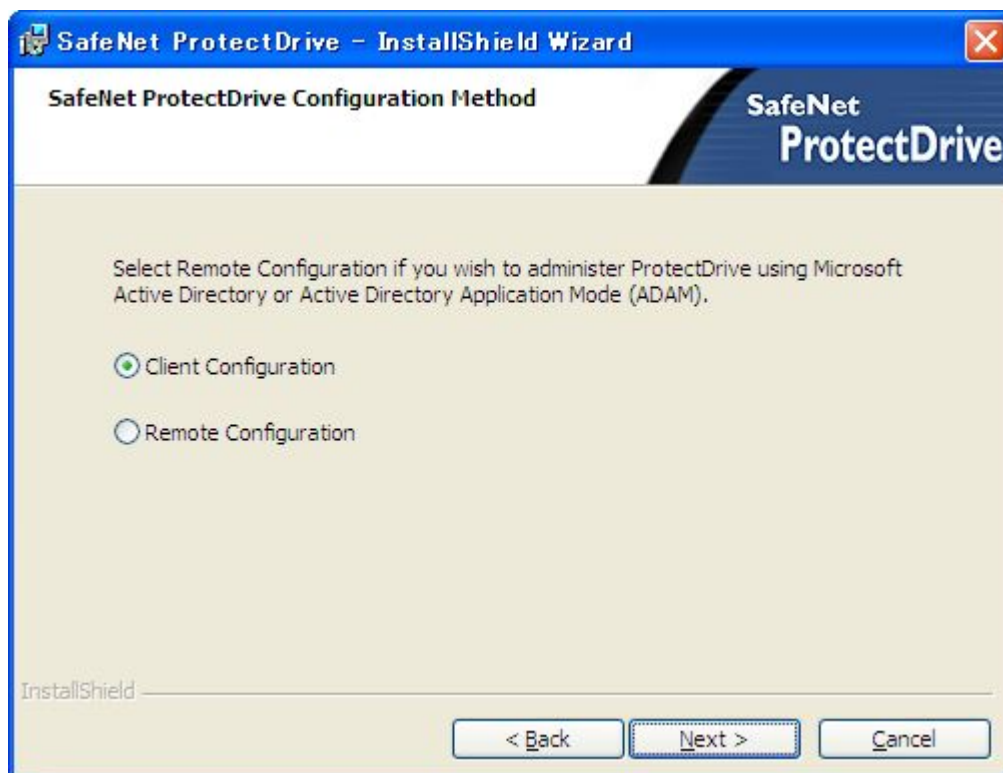
6. 「Trial Version」が選択されていることを確認し、「Next >」をクリックしてください。



7. 通常はデフォルトのまま「Next >」をクリックしてください。
スマートカードを利用する場合にのみ、適切なオプションを選択してください。



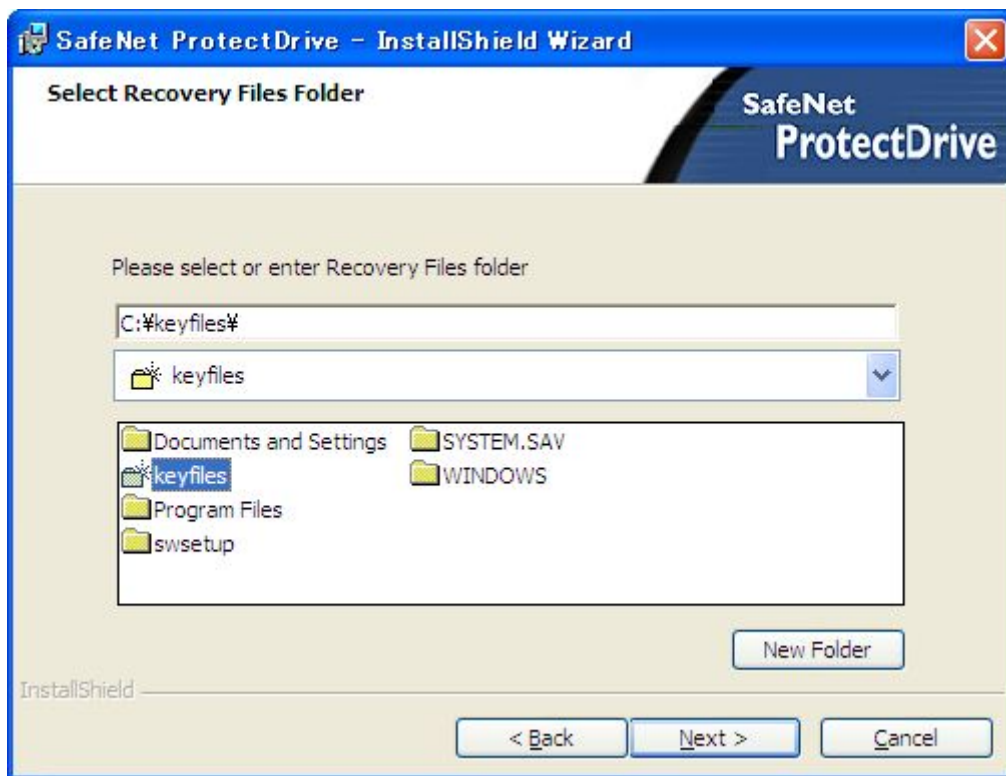
8. スタンドアロンで ProtectDrive を利用する場合には「Client Configuration」が選択された状態で、「Next >」をクリックしてください。



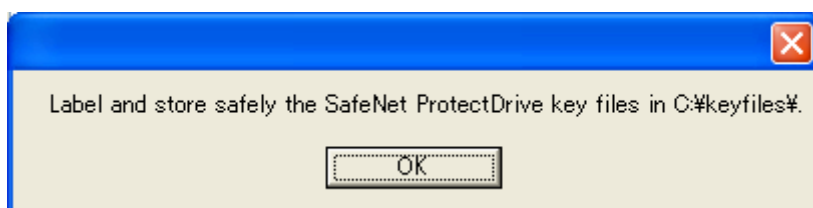
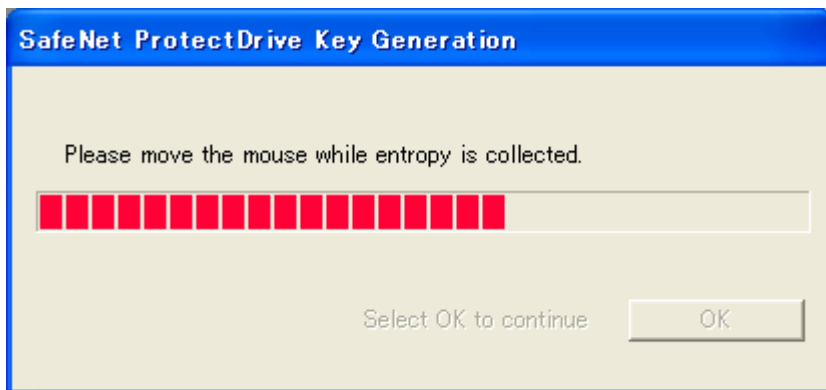
9. リカバリファイルのパスワードを入力し、「Next>」をクリックして下さい。



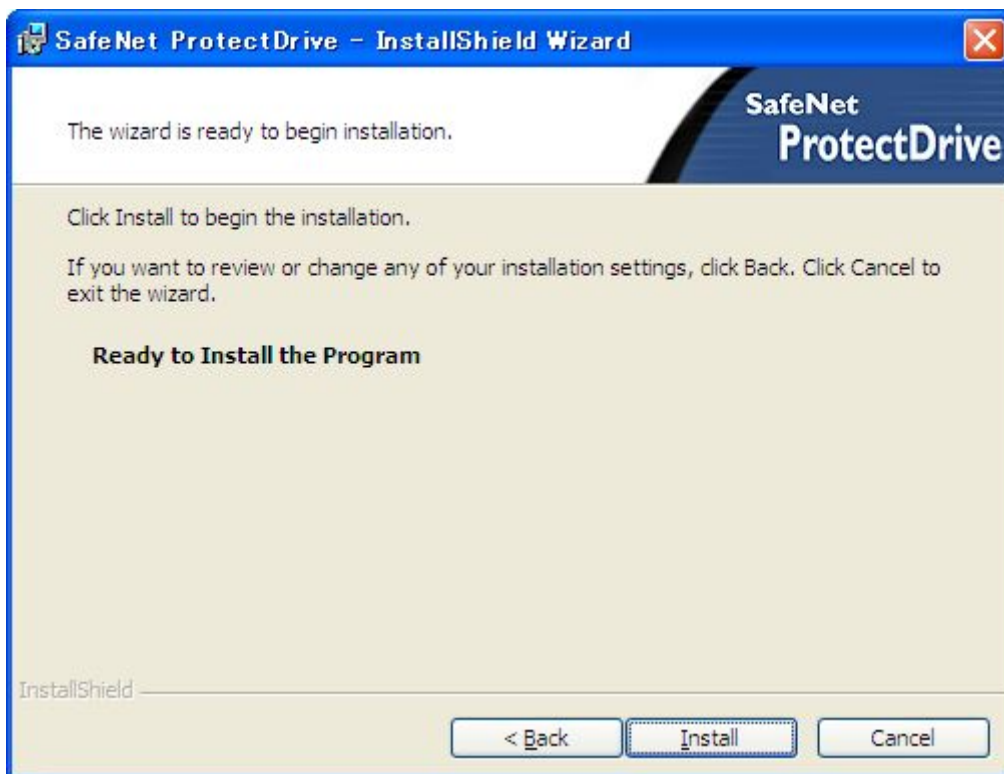
10. リカバリファイルの保存先を選択し、「Next>」をクリックして下さい。



11. 以下の画像が現れたら、マウスを動かしてください。「OK」ボタンを押しリカバリファイルの作成に成功すると、以下の画像が表示されます。



12. 「Install」をクリックして下さい。



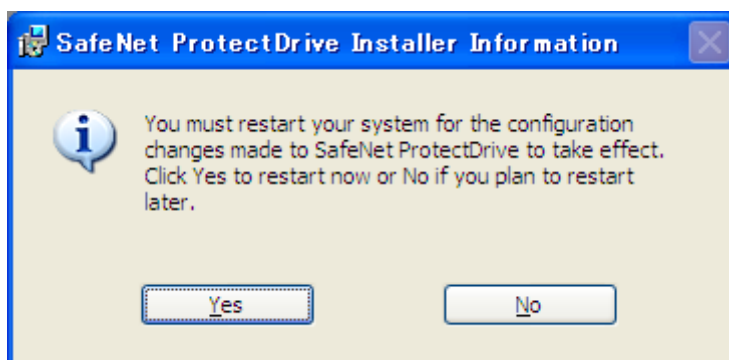
13. 「Finish」 をクリックしてください。

注意

インストールは、再起動後に行われます。この段階ではまだインストールは完了していません。



14. 「Yes」 をクリックしてください。自動的に再起動が行われます。



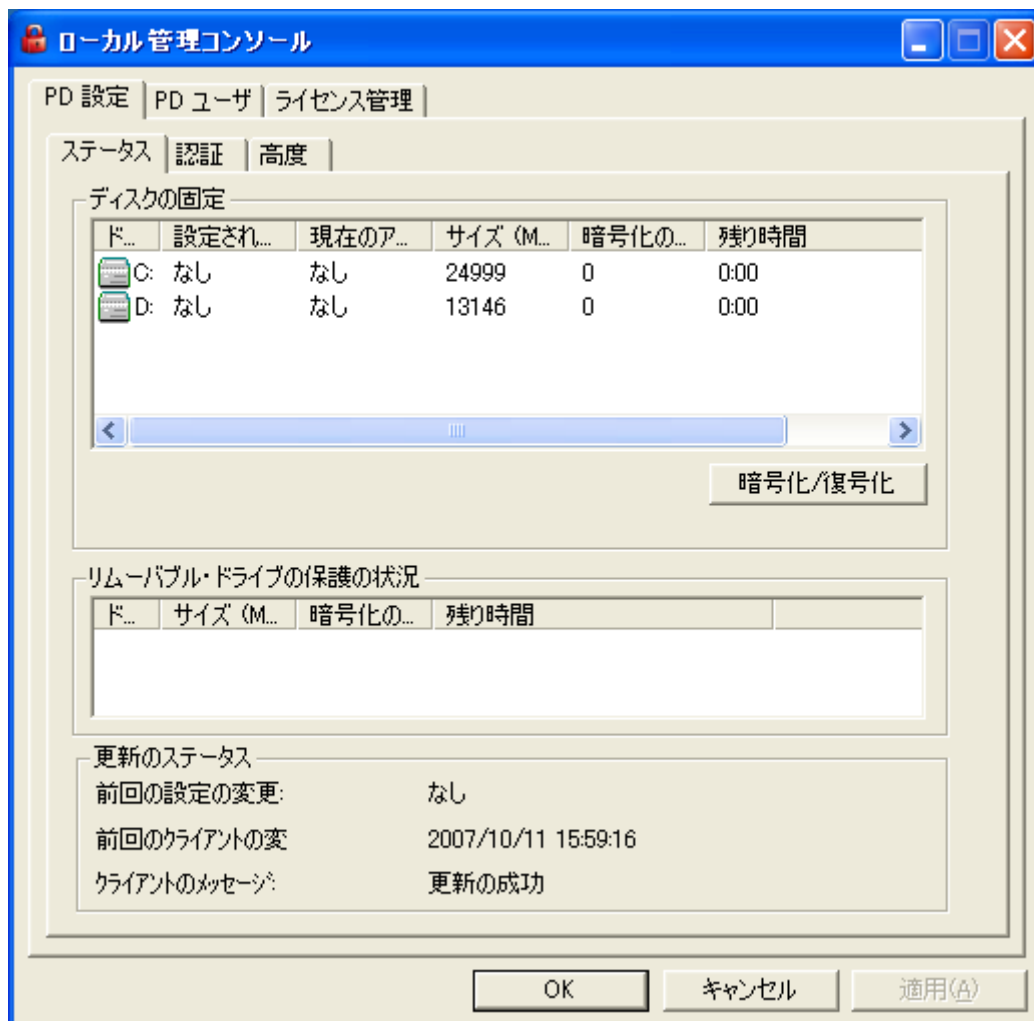
15. 再起動後にインストールが完了し、次回起動時から Windows 起動画面の前に、ProtectDrive の認証画面が現れます。Windows に登録されているユーザー名とパスワードで認証を行ってください。

ProtectDrive 設定ツール

ドライブ暗号化、ProtectDrive の設定変更、ユーザー管理、ライセンス管理などは、すべて「ローカル管理コンソール (Local Management Console)」を使って行います。

起動方法

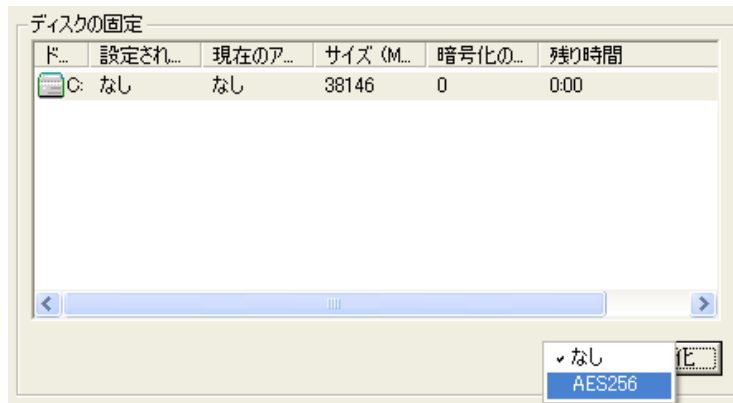
- 「スタートメニュー」、「すべてのプログラム」、「SafeNet ProtectDrive」を選択し、「Local Management Console」を起動してください。



ローカル管理コンソール(Local Management Console)

ドライブ暗号化手順

1. 「PD 設定」タブの中の、「暗号化ステータス」タブを選択すると、現在のドライブ暗号化情報が表示されます。
2. 一覧の中から暗号化をするドライブを選択し、次に「暗号化/復号化」ボタンを押して「AES256」を選択してから「OK」もしくは「適用」をクリックすると、暗号化が開始されます。

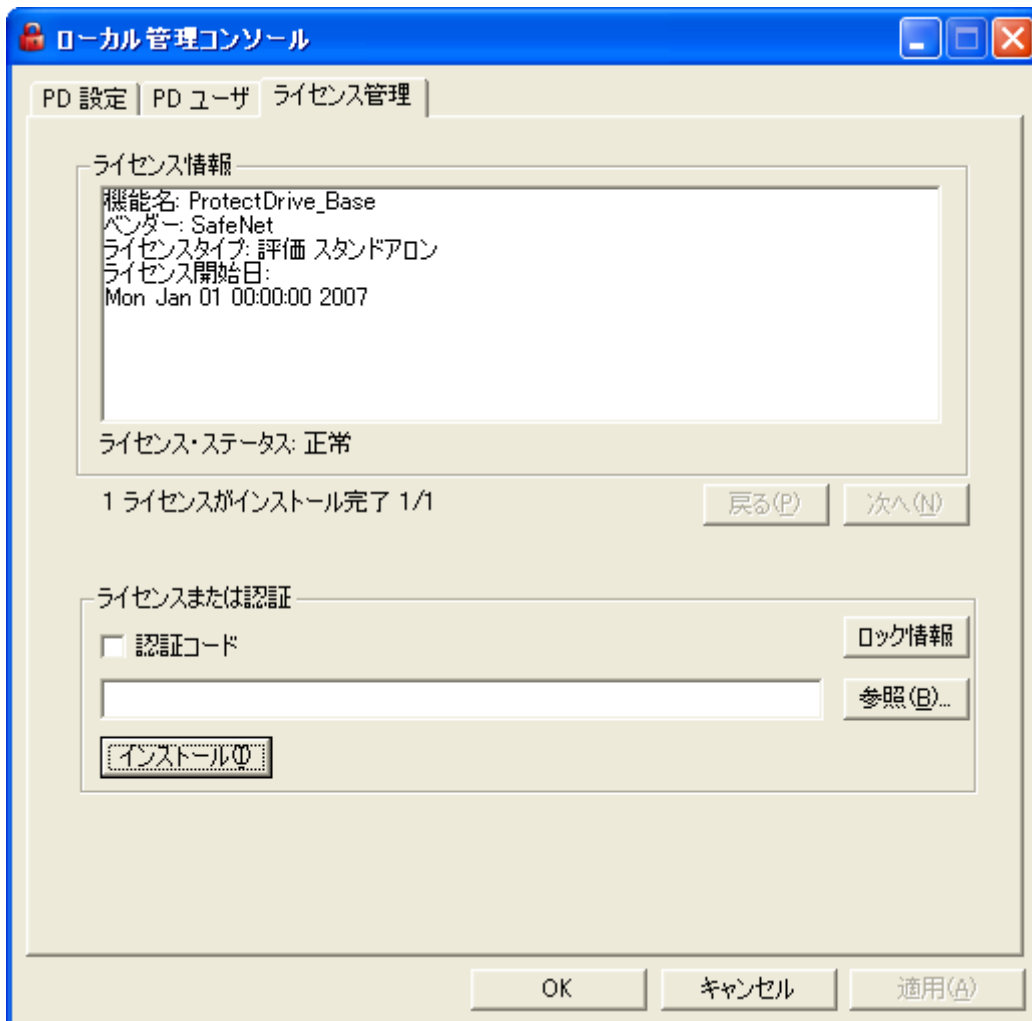


評価版のアンインストール手順

1. 全てのドライブ及びリムーバブルメディアを復号化してください。
2. 「プログラムの追加と削除」でアンインストールを行ってください。

その他

- ライセンス管理タブを選択すると、残り試用期間などの情報が表示されます。



ライセンス管理タブ

- インストール中に作成されたリカバリファイルは、ハードディスクの暗号化や復号化に利用します。必ず外部デバイスにバックアップして下さい。
- 評価用ライセンスを正式ライセンスに変更することができます。条件や手順につきましては、別途弊社までお問合せ下さい。

よくある質問

Q. どの OS に対応していますか。

A. 以下の OS に対応しています。

Windows 2000 Professional (SP4)

Windows 2000 Server (SP4)

Windows XP Home および Professional¹ (SP2)

Windows Server 2003 (SP1)

* Windows Vista には次期バージョンで対応の予定です。

Q. ProtectDrive の利用には、どの程度のスペックが必要ですか。

A. 必要なスペックは下記の通りです。

メモリ	32MB 以上 (128MB 以上を強く推奨します)
CPU	600MHZ 以上 (1GHZ 以上を強く推奨します)
空きドライブ容量	10MB (200MB 以上を強く推奨します)
その他	CD-ROM (CD-ROM からインストールする場合) ネットワークアクセス機能 (ネットワークインストール利用する場合) トークンランタイム環境 (トークンデバイスを利用する場合)

Q. パフォーマンスの劣化はどのくらいですか。

A. AES256 アルゴリズムで暗号化して、一般的アプリケーションを利用するのであれば、体感上劣化はほとんどありません。

Q. 管理サーバーは必要ですか。

A. 管理サーバーは不要で、スタンドアロンで全ての機能を利用できます。

また ActiveDirectory と連携させ、ユーザーを一元管理することも可能です。集中・非集中のどちらの形態でも利用可能です。

Q. Linux と同居できますか。

1 64bit 版は非対応です。

A. ProtectDrive 標準のマルチブート機能を有効にすることで同居できます。ただし細かい制限がありますので、詳細は ProtectDrive 付属のマニュアルを参照してください。

尚、Linux パーティションを暗号化することはできません。

Q. どのようなドライブが暗号化できますか。

A. 起動時に BIOS から参照できるハードディスクドライブと、USB 接続のリムーバブルメディアを暗号化することができます。

Q. USB リムーバブルメディアは暗号化できますか。

A. できます。詳細は製品付属のリリースノートや本ドキュメント補足を参照してください。

Q. シリアル A.TA.に対応していますか。

A. BIOS から参照可能であれば、対応しています。

Q. RAID に対応していますか。

A. BIOS から参照可能であれば、対応しています。

Q. どのファイルシステムに対応していますか。

A. NTFS と FAT に対応しています。

Q. Cドライブ以外にインストールできますか

A. できません。Cドライブにのみインストール可能です。

Q. 扱うことのできるパーティション数に制限はありますか。

A. Windows の認識する、Zまでのドライブレターが存在するパーティションに対応しています。

Q. ドライブのどの部分を変更しますか。

A. 起動ドライブの MBR (マスターブートレコード) を修正します。パーティションテーブルは変更しません。

Q. Windows のフォルダ圧縮機能は利用できますか。

A. C:\\$SECURDISK フォルダを除いて可能です。

Q. Windows のスタンバイに対応していますか。

A. 対応しています。

Q. Windows の休止状態に対応していますか。

A. 対応しています。保存されるファイルも暗号化されます。尚、復帰時に ProtectDrive によるプリブート認証が必要です。

Q. ドライブ最適化は可能ですか。

A. Windows 標準の最適化機能の利用が可能です。サードパーティの最適化ツールはサポート外です。

Q. Windows 標準のデュアルブート機能は利用できますか。

A. 利用できません。非対応です。

Q. パーティション単位でバックアップを取得するソフトは利用できますか。

A. 基本的に利用できません。

ただし、Norton Ghost を利用すると、一定の条件の下で可能です。詳細については別途お問い合わせください。

Q. Windows の簡易ユーザー切り替え機能は利用できますか。

A. 利用できません。ProtectDrive 導入後は、簡易ユーザー切り替え機能利用できなくなります。

Q. 評価版として導入した後で、製品版に切り替えることはできますか。

A. できます。詳細は別途お問い合わせください。

Q. ドライブの暗号化にはどれくらい時間がかかりますか。

A. ハードウェアによって異なりますが、10 GB の暗号化に1時間程度かかります。

Q. ProtectDrive Enterprise 8.1.1 からアップデートできますか。

A. 可能です。アンインストールや復号化は不要です。詳細な手順につきましては、マニュアルをご参照下さい。

Q. ProtectDrive 7.2.x からアップグレードできますか。

A. ProtectDrive 7.2.3 日本語版からのアップグレードが可能です。それ以前のバージョンをお使いの場合には、まず ProtectDrive 日本語版 7.2.3 へアップグレードしてから、ProtectDrive へアップグレードしてください。

ProtectDrive 日本語版 7.2.3 から ProtectDrive へのアップグレードの際には、ハードディスクの復号化は不要です。

補足

サポートされるデバイス及び動作検証済み PC 一覧

(セーフネット社提供 **ProtectDrive 8.2** リリースノートより抜粋。)

トークンのサポートに関して

ProtectDrive では、プレブート認証で二要素認証を可能とするスマートカードや USB 認証トークンでの認証をサポートしています。以下に **ProtectDrive v8.2** でサポートされているそれぞれのトークンを記載します。

なお、**ProtectDrive** では、CCID 互換のスマートカード・リーダーがサポートされていますが、下記に記述されている USB および PCMCIA 接続のスマートカード・リーダーは、弊社で検証したものです。

USB

- ・ DataKey DKR 630 - GemPC430
- ・ DataKey DKR 631 - GemPC USB
- ・ DataKey DKR731 - OmniKey CardMan 3121
- ・ DataKey DKR830 - SCR 331
- ・ Precise 100MC Bio Keyboard (プレブート認証での指紋認証は未サポート)

PCMCIA

- ・ Datakey DKR 600 - GemPC400
- ・ Datakey DKR 701 - CM 4040
- ・ GemPlus - GPR 400

サポートしているスマートカードと USB トークンの一覧

Aladdin eToken **Cryptographic Provider** : RTE 3.60

eToken Pro 16k、32k、64k および NG-OTP のサポート

1024 ビット RSA キーのサポート

Aladdin Smart card **Cryptographic Provider** : RTE 3.60

2048 ビット RSA キーのサポート(リーダに依存)

Axalto Access 64k および 64k v2 **SafeNet CIP Utilities** : Borderless Security PK 6.1.2 B4 以降

Gemplus GXP3 64v2n **SafeNet CIP Utilities** : Borderless Security PK 6.1.2 B4 以降

Nexus **Nexus Personal CSP**

Oberthur Cosmopolle v4 **SafeNet CIP Utilities** : Borderless Security PK 6.1.2 B4 以降

リムーバブル・メディアのサポート

下記に ProtectDrive v8.2 をインストールして、弊社で暗号化および復号化の検証を行ったリムーバブル・メディアを記載します。特殊な MBR、パーティションおよび他社製品で暗号化されたメディアは、ProtectDrive では利用することはできません。

また、ProtectDrive v8.2 では、USB v1.0 および USB v2.0 のリムーバブル装置と USB ハードディスクをサポートしています。弊社で暗号化および復号化の検証を行ったものも以下に記載します。

検証済の USB リムーバブル装置

- ・ Crucial Gizmo 256MB
- ・ Crucial Gizmo Overdrive 512MB (ソフトウェアなし)
- ・ Edge DiscGO 128MB
- ・ Imation Clip Flask Drive1GB
- ・ Imation Flash Wristband 256MB
- ・ Iomega Micro Mini 512MB
- ・ Kingston DataTraveler mini fun 256MB
- ・ Kingston DataTraveler 256MB
- ・ Kingston U3 DataTraveler 1GB (U3 パスワード認証なし)
- ・ Lexar Jump Drive Elite 128MB
- ・ Lexar Jump Drive Secure 1GB
- ・ Memorex TravelDrive 256MB
- ・ PNY Attache 128MB

Oberthur Cosmo64 v5.2d. **SafeNet CIP Utilities** : Borderless Security PK 6.1.2 B4 以降

Oberthur ID one v5.2 **SafeNet CIP Utilities** : Borderless Security PK 6.1.2 B4 以降

RSA SecurId 5100 **RSA Authenticator Utility** : Revision 1.0 (Build 25)

1024 ビット RSA キーのサポート

SafeNet Borderless Security

Smart Card 330

SafeNet CIP Utilities : Borderless Security PK 6.1.0 以降

CSP: dkrsacsp.dll: 4.7.20.3010

1024、2048 ビット RSA キーのサポート

SafeNet Borderless Security

iKey 2032

SafeNet CIP Utilities : Borderless Security PK 6.1.0 以降

CSP: dkrsacsp.dll: 4.7.20.3010

1024、2048 ビット RSA キーのサポート

SafeNet Borderless Security

iKey 1000、iKey 1032

認証には必要なし。

別途 PIN の変更には、iKey 1000 SDK v2.2.3 以降が必要

Schlumberger Access 32k v2 **SafeNet CIP Utilities** : Borderless Security PK 6.1.2 B4 以降

Siemens CardOS v4.3b **Siemens AG** : HiPath Scurity Card API V3.0 B

- ・ PNY Attache 512MB
- ・ SafeNet 32MB
- ・ SanDisk Cruzer Freedom 256MB
- ・ SanDisk Cruzer Micro U3 1GB (U3 パスワード認証なし)
- ・ SimpleTech Bonzai Xpress 128MB
- ・ Sony MicroVault 512MB
- ・ Sony MicroVault BioMetric 512MB
- ・ Sony POCKETBIT USM 128MB (指紋認証なし)
- ・ Sony POCKETBIT USM-J 128MB, 256MB, 512MB, 1GB, 2GB, 4GB, 8GB
- ・ Verbatim Store 'n' Go 128MB
- ・ Viking 256MB
- ・ Viking Interworks 1GB
- ・ Generic 2.0 USB hard drives

パソコンのサポート

下記に ProtectDrive v8.2 をインストールして、弊社で暗号化および復号化の検証を行ったパソコンを記載します。

また、ProtectDrive v8.2 では、Microsoft 社より認定されている Windows 2000 および XP が動作するパソコンをサポートしています。

動作検証内容

1. パソコンの標準オペレーティングシステムのインストール(付属の CD を利用)
2. Microsoft Windows の CHKDISK の実行
3. ProtectDrive v8.2 のインストール
4. C: ドライブの暗号化(AES 256)
5. 再起動後、Microsoft Windows の CHKDISK および DEFLAG の実行
6. 再起動後、iKey 1000 用の共通鍵発行および再起動してプレブート認証の検証
7. C: ドライブの復号化
8. 再起動後、ProtectDrive のアンインストール

9. 正常に再起動することを確認

検証済のパソコン

下記の検証は、日本語環境での検証機器となります。

- ・ 富士通 FMV-C8200 (FMVNC1DC23)
- ・ 東芝 SatelliteJ40 (PSJ401HL5SR1K)
- ・ 東芝 SatelliteJ50 (PSJ501JL5SR1K)
- ・ 東芝 SatelliteJ60 (PSJ6020DXSRGKW)
- ・ 東芝 SatelliteT20 (PST201MC5N71K)
- ・ 東芝 PORTEGE 2010 (PP201Z-00GPP)
- ・ 東芝 SS 2110 (PP21110L2HGP)

メモ: 東芝 SS2110 の付属の CD でインストールした場合には、必ず Windows Installer v3.1 を Windows update からインストールしてください。

- ・ 東芝 SS S30 (PPS301CSPS6UK)
- ・ 東芝 SS S21 (PPS2112L2J64K)
- ・ 東芝 SS M35 (PPM351RDPSSTK)
- ・ NEC VersaProNX (PC-VY16MEFE1EHX)
- ・ NEC VersaProR (PC-VY17FRFEJEHU)

メモ: 上記の NEC VersaProNX および VersaProR では、プレブート認証に iKey 1000 は利用できません。これは、BIOS レベルで iKey 1000 を認識できないためです。

- ・ NEC VersaProNX (PC-VY21AWZE1)
- ・ NEC VersaProNX (PC-VY22FAGEX)
- ・ NEC VersaProNX (PC-VY17FLVEHWLR)
- ・ NEC VersaProNX (PC-VY17FLVEX)
- ・ NEC VersaProNX (PC-VY12FBHEX)
- ・ 松下電器 Let'sNoteProY2 (CF-Y2FW7AXS)
- ・ 松下電器 Let'sNoteProY4 (CF-Y4JW8AXS)
- ・ 松下電器 Let'sNoteProY5 (CF-Y5LW4AXS)
- ・ 松下電器 Let'sNoteProT5 (CF-T5KW9AXS)
- ・ 松下電器 Let'sNoteProT2 (CF-T2FW1AXS)
- ・ IBM ThinkPad X23 (TYPE 2662)
- ・ IBM ThinkPad X40 (TYPE 2371)
- ・ IBM ThinkPad T60 (TYPE 2007)

